

寺島しのぶ
常盤 貴子

落井 実結子 (子役)
安達 祐実
渡辺 いっけい
東 ちづる
宅麻 伸
春風亭 昇太
辰巳 琢郎
渡辺 梓
窪塚 俊介
山田 邦子
小倉 蒼蛙 (一部)
堀内 正美
松本 路子
磯村 みどり

高島 礼子
船越 英一郎

両親は知的障がい者
貧しくとも
こんなに豊かな家族の物語

私のかあさんは、知的障がい者でしたが、
私にとって最高の母でした

わたしの かあさん
— 天使の詩 —

監督・ゼネラルプロデューサー | **山田火砂子**
プロデューサー | **上野 有**

脚本 | 山田火砂子、坂田俊子 音楽 | 朱花 撮影 | 高岡賢治 照明 | 上保正道 録音 | 前田一穂 美術 | 山下修侍 美術 | 小堺かな 制作 | 株式会社 現代ぷろだくしょん



宅麻伸



小倉蒼蛙 (一部)



辰巳琢郎



東ちづる



渡辺 梓



映画『わたしのかあさん—天使の詩—』にかける想い

私の知的障がいの長女が通った大塚養護学校で長年お世話になった菊地澄子先生の書かれた『わたしのかあさん』を映画化しました。

知的障がい者の両親の長女として高子は生まれました。秀才だった高子が小学三年生になって両親の障がいに気がつき荒れるところからドラマは始まります。しかし、周りの人々の感化によって「障がいを持っていたのが自分だったかもしれない」と言う事に気がつき、だんだん心を取り戻していくのです。

優秀なら IT 企業などで働けば金銭的には楽だったかもしれないのに、後年、高子は福祉の道に進みます。糸賀一雄先生、田村一二先生、池田太郎先生方の影響を受けましたが、最も影響を与えたのは、無垢な心の母親です。悪は善

に負けるがテーマです。母の悪口ばかり言っていた近所の人達も、だんだん仲良くなって、子供を預けるなど、母を信頼していきます。周囲の人々の心を変えていく母の姿を見た高子は福祉の道に生きる決心をするのです。

障がいの両親役に、寺島しのぶ、渡辺いっけい、友人の父親に船越英一郎、先生役に東ちづる、糸賀一雄先生役に宅麻伸、そして成長した高子を常盤貴子、その親友に安達祐実、ほかたくさんの演技派の俳優さんが参加して豪華メンバーのすばらしい映画となりました。福祉映画もここまで来たかと感動しています。

幸せとは何か、貧しくとも豊かな家庭とは、泣き笑いのあるこの映画をぜひお楽しみください。

監督 山田 火砂子

上映会のお知らせ 各回山田火砂子監督舞台挨拶を予定 (開演後、本編上映前)

・開場は各回30分前 (予定) ・1回につき～2時間30分程 (ご挨拶と映画本編110分ほど) ・[※]は字幕付上映 (中ホール)

2024
5/11
(土)

水戸市民会館 ユードムホール

JR「水戸」駅から徒歩約20分、
北口よりバスで5分「泉町一丁目」停下車徒歩1分

前売券販売 水戸市民会館 (029-350-6060)

※製作協力券にても入場可。

●前売券 一般:1,300円 ●当日券 一般:1,800円

チラシ割引 当日一般:1,500円/小学生:800円
※本チラシご持参で5名様まで有効

お問い合わせ 現代ぷろだくしょん 03-5332-3991 (平日10時～18時) e-mail:gendaipro@gendaipro.jp